

令和3年4月12日発行  
編集：中国学園大学現代生活学部  
人間栄養学科

第39号



中国学園大学現代生活学部

人間栄養学科

NEWS



問い合わせ先：  
中国学園大学現代生活学部  
人間栄養学科  
Tel 086-293-0247  
Fax 086-293-2798  
E-mail eiyou@cjc.ac.jp

## 卒業式

令和3年3月19日（金）に、現代生活学部の卒業式が執り行われました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため学園全体の卒業式が中止になったなか、学部の卒業生と教職員のみが教室全体に等間隔に着席し、卒業式を執り行いました。また、卒業式に列席できない保護者への対応としてZOOM配信を行いました。冒頭千葉学長からご挨拶を頂いた後、出席した卒業生1人ずつに卒業証書・学位記が授与されました。閉式後は中庭へ移動し、写真撮影をしたりマスク越しに思い出話に花を咲かせたりしていました。（河野 勇人）



た。仕事内容や、やりがいなどを聞いて、将来の事についてもっと考える必要があると改めて感じました。



## 栄養セミナーⅢ発表会

3年生 石崎 桃花（岡山県立倉敷鷺羽高等学校 出身）

私が行ったゼミでは、JA 全農おかやまと連携して、岡山県産の野菜を使ったレシピや学食のランチメニューを考案しました。価格や作りやすさを考慮し、トマトとナスを使ったレシピを、実際に学食のランチメニューとして提供させていただきました。自分たちが考案したレシピを食べて貰える事の楽しさや嬉しさを感じることができました。



## 栄養セミナーⅠ発表会

1年生 加藤沙彩（香川県立高松北高等学校 出身）

コロナと食に関わるテーマで調べ学習を行い、内容を発表しました。私達のグループは、「コロナ禍における調理実習での試食の可能性」というテーマについて調べました。令和2年度調理実習では、新型コロナウイルスの影響により、試食を行うことができませんでした。試食をするため自分達に出来る予防対策や、感染リスクを下げるためにはどうすればいいのか、これから必要になる知識と合わせて学ぶことができました。



## 栄養セミナーⅣ～卒業研究集の発行～

今年も卒業研究集が無事に発行でき、3月19日に開催いたしました卒業証書・学位記授与式の際に、卒業生に配布することができました。例年であれば、地域での活動を通して卒業研究を活発に行っているゼミでも、今年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で十分な研究活動ができませんでした。その中でも、工夫をしながら可能な限りの研究を行い、卒業論文としてまとめ、9報を卒業研究集に掲載することができました。

（波多江 崇）

## 栄養セミナーⅡの取り組み

2年生 山口愛実（都城東高等学校 出身）

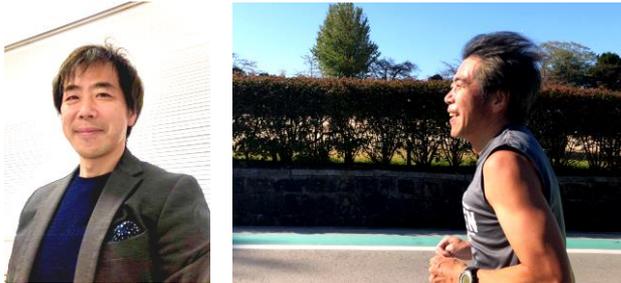
菜園実習では苗を植えるところから収穫までを行いました。夏にはきゅうりやトマト、秋にはさつまいも、冬にはキャベツや白菜、大根と沢山の野菜を育てていく大変さを、体験することができました。さらに農家の方が苗の植え方や収穫の仕方、野菜についての知識も教えて下さり幅広く学ぶことができました。キャリアガイダンスでは本学の先生方の経験を踏まえた話を聞きまし



※写真撮影時のみ、マスクを外しています。

## 新任教員の(自己)紹介

### — 井之川 仁 教授 —



令和2年10月1日付で京都府立医科大学より赴任してきました。解剖生理学を担当しております。大学時代は箱根駅伝で有名な順天堂大学で陸上競技(中距離)とスキー競技(クロスカンントリー)にあけくれていました。卒業後は脳神経科学の研究に目覚め(笑)、大学院博士課程で京都府立医科大学大学院医学研究科に進み、その後、京都府立医科大学に教員として採用されました。20年以上にわたり医学生や看護学生への解剖・生理学の教育と脳神経科学の研究を行って来ました。この度、中国学園大学に採用され、管理栄養士を目指す皆さんの教育と研究を「食・運動・睡眠・脳・健康」をキーワードに発展させていきたいと思っています。よろしくお願いたします。あ、それと女子駅伝部も作りたいです!

### — 氏峰 菜里 助教 —



昨年度まで九州の大学で働き、10月に助教として赴任しました。出身は川崎医療福祉大学で、大学院では黄色ブドウ球菌と次亜塩素酸ナトリウムの研究をしていました。小学生の時に管理栄養士になりたいと思い、猪突猛進にここまでできました。今はInstagramで国家試験対策の投稿もしています。皆さんの学生生活を精一杯サポートできればと思います。よろしくお願致します。

## 公衆栄養学実習Ⅱの事前学習として “野菜のお雛様”を作成

市役所や保健所などの行政栄養士は、地域の健康・食生活問題と複雑な背景を分析し、多様な職種や機関、地域住民とともに解決の方策を考えていく実践力が期待されています。野菜は一日に350g以上摂取することが勧められていますが、国民健康栄養調査では290g、岡山県民健康調査では260gと報告され、野菜摂取の啓発は重要な課題となっています。本年度はコロナ禍で地域の方と協働した活動ができなかったことから、「公衆栄養学実習Ⅱ」の事前学習として、卒業式とオープンキャンパスにて、地域の方と一緒に作成した“野菜を使ったお雛様”の展示を計



画し、野菜摂取の啓発を行いました。学生は、企画や広報から幕、リーフレット、アンケート、名札、雛壇に加え、青竹に入れた花筒の花道作りまで取り組み、トータルコーディネートしました。地域の方と協力しながら完成させたことで多様な意見や協働することの意義を学び、公衆栄養マネジメントの展開について体験することができました。(辻本 美由喜)



## 卒業生からのメッセージ ～管理栄養士として活躍しています～

14期生 中尾 佳奈子 2019年卒業

私は、自然豊かな岡山県奈義町で行政管理栄養士として働いています。行政管理栄養士は、子どもから高齢者まで全ての住民の健康づくりを栄養面から支え、いつまでも元気に生活するための手助けができる、非常にやりがいのある仕事です。中国学園大学の先生方は学生の目指す夢に対し全力で応援してくれるので、安心して学ぶことができました。ぜひ皆さんも、中国学園大学で管理栄養士としての夢を叶えてみませんか。



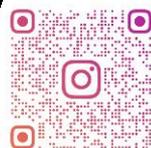
『行政栄養士の業務と役割』について本学での講演の様子

## 現代生活学部 人間栄養学科 公式Instagram



chugokugakuen\_univ.ningeneiyou

中国学園大学 現代生活学部 人間栄養学科 公式Instagram



フォロー&いいね、お待ちしております♪

CHUGOKUGAKUEN.UNIV.NINGENEIYOU